

NISCと関係機関との協力について

基本法等を踏まえ、サイバーセキュリティ対策の効率的・効果的な推進のため、NISCと関係機関との間で協力関係を構築しているところ、前回の本部会合において報告を行ったJPCERT/CC及びIPAに続いて、今回、以下の2者とパートナーシップを構築する。

1 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)とのパートナーシップ

【協力内容】

情報通信関連のセキュリティ技術情報の共有、研究開発戦略の推進に関する協力、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に向けたサイバーセキュリティ技術に関する協力等に関するパートナーシップを新たに締結する。

【団体概要】

- 2004年4月に通信総合研究所と通信・放送機構が統合して発足。情報通信分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関として、情報通信技術の研究開発の推進等を通じ、豊かで安心・安全な社会の実現を目指す。
- NICT内のネットワークセキュリティ研究所において、高度化・多様化するサイバー攻撃から我が国を守ることのできる実効性のある研究開発を組織的・戦略的に推進しており、インシデント分析センター(NICTER)や暗号技術の研究開発等を行っている。

2 国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)とのパートナーシップ

【協力内容】

脆弱性等に関する情報共有、研究開発の推進等に関する協力、ITやサイバーセキュリティに関する科学技術的な専門的知見の共有、プライバシー保護に関する専門的知見の共有、サイバーセキュリティに関する企業等との橋渡しに関する協力等に関するパートナーシップを新たに締結する。

【団体概要】

- 2001年4月に、通商産業省工業技術院の15研究所と計量教習所が統合・再編され発足。我が国最大級の公的研究機関として日本の産業や社会に役立つ技術の創出とその実用化や、革新的な技術シーズを事業化に繋げるための「橋渡し」機能に注力して活動。
- 安心して利用できるサイバーフィジカルシステムを実現するためのセキュリティ基盤として、ソフトウェア工学や暗号技術を用いてシステムの品質と安全性を向上する技術の研究等を行っている。